

久留女木地域振興活動計画

作成主体の名称：久留女木地域振興協議会

1 久留女木地域振興活動を通じて保全を図る棚田等に関する事項 (棚田等の名称及び範囲)

久留女木棚田 (7.7ha)

範囲については、別添1のとおり。

2 久留女木地域振興活動の目標

- ・久留女木地域振興協議会は、貴重な国民的財産である棚田を保全し、棚田里山地域の有する多面にわたる機能の維持増進を図り、もって棚田里山地域の振興を図ることを目的とし、既に保全活動の中心である久留女木里山の会、久留女木竜宮小僧の会の事業を補佐する
- ・自分の食べるものは自分で作るという理念のもと、自立した耕作者の育成を推進する。
- ・さらに、次の事項を目標に活動を行う。

(1) 棚田等の保全

- ・管理面積の維持
 - 令和6年度末まで久留女木棚田における管理面積 3.7ha の現状を久留女木里山の会、竜宮小僧の会と共に維持する。
- ・担い手の確保
 - 令和6年度末までに久留女木棚田の保全主体である久留女木里山の会、竜宮小僧の会の耕作者数8人を2人増やして10人にする。
 - 令和6年度末までに久留女木棚田の耕作についての学習動画を制作するなど、一層効果的効率的な耕作者の育成環境の整備を図る。
- ・生産性・付加価値の向上
 - 令和6年度末までに久留女木棚田の農機具格納庫を整備し、農機具の運搬労務を省力化する。
 - 令和6年度末までに久留女木棚田に情報交換・休憩・着替え等を行える拠点施設を整備し、労働生産性等の向上等を図る。

(2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・農産物の供給の促進
 - 自分の食べるものは自分で作るという理念のもと、美味しいお米作りの普及に取り組み、令和6年度末までに食味分析結果80点以上の自立した耕作者を育成する。
- ・自然環境の保全・活用
 - 小中学生に向けた田植えや稲刈りの体験学習を毎年開催する。
 - 星空観察会を年間2回以上開催する。
 - 地域資源の大切さや取り組みの意義の理解を深める都市住民向けの棚田を巡る機会を年間2回以上設ける。

- 令和6年度末までに久留女木地域における鳥獣被害面積を0.5haから0.3haに減少させる。
 - ・良好な景観の形成
 - 令和6年度末までに耕作されていない田んぼ約0.1haで野菜作り等の農業体験会を開催する。
 - 令和6年度末までに久留女木棚田の耕作されていない田んぼと、その周辺に優良果樹や花木等を約20本以上植栽する。
 - 令和6年度末までに耕作されていない田んぼ約0.1haで景観作物を栽培する。
 - 上記について、日本の棚田100選に選ばれた棚田として、文化的景観の保護と一体的に進める。
 - ・伝統文化の継承
 - 収穫を皆で祝い感謝し、1年の活動の喜びを分かち合う収穫祭を年間1回開催し地元住民と都市住民との親睦を図るイベントとする。
 - 稲刈りに使用する伝統的なスガイ作りを体験するイベントを開催する。
- (3) 棚田を核とした棚田地域の振興
- ・棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興
 - 令和6年度末までに久留女木棚田サポーターを50組以上にする。
 - 田植え、稲刈り体験の他、各種体験会や収穫祭に参加する農村関係人口を累計300人以上に維持する。
 - ・棚田を観光資源とした地域振興
 - 令和6年度末までに、棚田のトイレ、駐車場等の看板を維持し棚田耕作者と訪問者の良好な交流を図れるようにする。
 - ・棚田米等を活用した六次産業化の推進
 - 令和6年度末までに久留女木地域の地場産品を活かした新商品の開発と販売を模索する。
 - ・歴史的な地域の営みの再評価・伝承
 - 棚田から竜宮小僧の湧き水を巡りながら、現在まで続く棚田の営みを伝承するツアーなど、地域に伝わる竜宮小僧伝説に因んだイベントを年1回開催する

3 計画期間

認定の月～令和7年3月

4 各年度において行う久留女木地域振興活動の内容及び実施主体に関する事項

久留女木地域振興協議会は前述の目標を達成するために久留女木里山の会、竜宮小僧の会と共に活動する。

(1) 棚田等の保全

- ・管理面積の維持
 - 竜宮小僧サポーターや棚田塾生、その他農作業ボランティア等と一体となって久留女木棚田の管理面積を維持する。
- ・担い手の確保
 - 竜宮小僧サポーター、稲作体験会、棚田塾生といった仕組みの中で新たな担い手を確保していく。
 - 久留女木棚田の耕作についての学習動画を制作するなど、一層効果的効率的な耕作者の育成環境の整備を図る。

- ・生産性・付加価値の向上
 - 竜宮小僧サポーター及び稲作体験会、棚田塾生、耕作者の農機具の利用や、休憩等の需要を確認し、農機具の格納庫及び情報交換や休憩、着替え等の拠点施設の整備を推進する。

(2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・農産物の供給の促進
 - 食味分析結果より、安定した品質が保たれた後、棚田米のブランド化を図り、久留女木里山の会、竜宮小僧の会のホームページを活用し商談窓口等を開設する。
- ・自然環境の保全・活用
 - 小、中学生向けに田植え体験会や稲刈り体験会、竜宮小僧サポーターや農業ボランティア向けに稲作体験会、棚田塾生向けの担い手育成プログラム、また、興味関心を持った一般の方も対象に、棚田の大切さと取り組みの意義の理解を深める機会や星空観察会など、自然環境を活用して関係人口の創出・拡大を図る。
 - 地元猟友会との連携を図り、イノシシやシカ等の侵入防止柵やワナを設置するなど、鳥獣被害対策を推進する。
- ・良好な景観の形成
 - 優良果樹や花木等の植栽を実施するなど、良好な景観を確保する。
 - 景観作物の栽培等を行い良好な景観を確保する。
 - 上記について文化的な景観の保護と一体的にすすめる。
- ・伝統文化の継承
 - 収穫を皆で祝い感謝し、一年の活動の喜びを分かち合う収穫祭を年間一回開催し伝統文化の継承と、地元住民と活動関係者との親睦を図る。
 - 稲刈り用のスガイ作り体験会を開催する。

(3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- ・棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興
 - 田植え、稲刈り体験会の他、各種体験会や収穫祭を開催し関係人口の創出・拡大を図る。
 - 久留女木里山の会、竜宮小僧の会が棚田の魅力を伝え、未来へ繋ぐ保全活動への参加を広く呼び掛ける目的で令和4年度に新たなパンフレット作成し情報発信力の強化に努める。
- ・棚田を観光資源とした地域振興
 - 棚田のトイレ、駐車場等の看板を維持・設置するなど、棚田耕作者と訪問者の良好な交流が図れる環境を維持・整備する。
- ・棚田米等を活用した六次産業化の推進
 - 久留女木地域の地場産品を活かした新商品の開発と販売を模索する。
- ・歴史的な地域の営みの再評価・伝承
 - 井伊家の庇護を受け開墾が進み、井伊直虎も魅せられた井伊家の隠し里（棚田）において、無償の奉仕の精神を今に伝承する「竜宮小僧伝説」。これらを再評価し、今後も一層普及するべくSNS、HP、パンフレットや、お話会などを通じて伝承していく。
 - 集落の歴史的な営み「万歳楽」などを再評価し、今後も一層普及するべくSNS、HP、パンフレットや、お話会などを通じて伝承していく。

5 久留女木地域振興協議会に参加する者の名称又は氏名

久留女木地域振興協議会に参加する者の名称又は氏名については、別紙のとおり。